

次世代事業承継者を 育成する

早稲田大学ビジネススクール(WBS)

なぜWBSが次世代の 事業承継者を育成できるのか

早稲田大学ビジネススクール(WBS)では、
ファミリービジネスの次世代事業承継者を
育成するための授業、教員、

その他様々な機会を豊富に揃えています。

(1)ご自身が事業承継者でMBAを取得しながら
様々な知見・経験を得たい方、

(2)ご子息・ご息女・従業員を承継者に検討している方は、
WBSにご注目ください。

WBSの国際評価ランキング

総合ランキング
国内 **1位**



2018 QS社評価
「アジア太平洋地域のベスト・ビジネス
スクール20校」に日本最上位で選出

WBSはQS社の世界トップ200校である「Global 200 Business
Schools 2018」に選出。また、アジア太平洋地域の上位20校を選
出する「Global 20 Business School in Asia-Pacific 2018」に
おいて、日本のビジネススクール最上位(19位)に選出されています。

5つの理由

- 1 事業承継者に向けた
科目の充実度
- 2 ファミリービジネス分野での
経験豊富な教授陣
- 3 事業承継・ファミリービジネス
関連研究所の存在
- 4 国内外から集まる
事業承継者のネットワーク
- 5 事業承継者入試枠の設置

WASEDA
BUSINESS
SCHOOL



早稲田大学ビジネススクール
(大学院経営管理研究科)

一般入試、事業承継者入試、入学説明会の情報はWEBサイトから

<https://www.waseda.jp/fcom/wbs>

なぜWBSが次世代の 事業承継者を育成できるのか

5つの理由

1 事業承継者に向けた 科目の充実度

WBSは、事業承継者に向けた専門科目を充実した内容で提供しています。次世代のファミリービジネスの経営者に求められるアントレプレナールシップ（起業家精神）に加えて、ファイナンス、会計、マーケティング、リーダーシップなどの科目を体系的に揃えており、2年間（あるいは1年間）で、事業承継者として必要な知識を体系的に学ぶことができます。

■ 事業承継者を意識した講義科目の一例

- ・ファミリービジネスの経営A: 理論からファミリービジネスプランへ（東出浩教授）
- ・ファミリービジネスの経営B: ライブケースを利用した深掘り（米田隆教授）
- ・ファミリービジネスと国際化（長谷川博教授、米田隆教授）
- ・アントレプレナールシップ（東出浩教授（全日制プログラム）、長谷川博教授（夜間主プログラム））

2 ファミリービジネス分野での 経験豊富な教授陣

WBSはファミリービジネス、アントレプレナールシップ（起業家精神）などの領域において高い専門性・豊富なビジネス経験を持つ教員を揃えています。以下は、主要な教員です。



教授 東出 浩教
英ロンドン大学・インペリアルカレッジより、日本人初となるアントレプレナールシップを専攻しての博士号取得。ウエルインベストメント（株）取締役を兼任。専門は起業家精神、ファミリービジネス、創造性と倫理・哲学。



教授 長谷川 博和
早稲田大学より博士号取得。国際ファミリービジネス総合研究所所長、グローバルベンチャーキャピタル（株）会長を兼任。中小企業庁「ファミリービジネスのあり方に関する検討会」委員長。



教授 米田 隆
米フレッチャー法律外交大学院で修士号取得。（株）グローバル・リンク・アソシエイツ代表取締役を兼任。専門はファミリービジネス、財務戦略で事業承継・ファミリービジネスへのコンサルティング実績多数。

3 事業承継・ファミリービジネス 関連研究所の存在

WBSでは事業承継・ファミリービジネス関連の研究所を通じて、様々な活動を行っています。

■ 主な研究所

早稲田大学アントレプレナール研究会（WERU）

WERUは、現在最も活発なグローバル規模でのファミリービジネス研究といえる、米バブソン大学が主催するSTEP (Successful Transgenerational Entrepreneurship Practices) プロジェクトに、当初より日本で唯一のパートナーとして参画し、ファミリー企業の持続性と企業家精神の観点からの国際的な調査研究を行っています。また、そのプロセスで、WBSの事業承継者学生と海外の事業承継者学生の交流なども行われています。

URL ▶ <http://weru.co.jp/>

国際ファミリービジネス総合研究所

国際ファミリービジネス研究所は、ファミリービジネスを研究対象として学際的研究を行い、社会への総合的な研究成果発信を目的としています。これまでに米ノースウェスタン大学、米バブソン大学、欧州IMDなどの研究者を招聘するなど、様々なイベントを行ってきました。2017年には日本ファミリービジネス学会の全国大会を早稲田大学で開催しています。ファミリービジネスは学際的な研究が必要なため、学外から多くの専門家に招聘研究員として参加いただいております。またファミリービジネス関連の出版（翻訳本を含む）やケーススタディを作成しています。

URL ▶ <http://www.waseda-family.info>

4 国内外から集まる 事業承継者のネットワーク

現在、WBSでは国内外を通じて様々な事業承継者が在籍しています。彼らとの様々な交流を通じて、国内はもとより、中国、東南アジアを中心とした海外の事業承継者とも人脈を広げることができます。これらのネットワークは、今後の事業承継者のビジネス展開において、大きな資産となるでしょう。

5 事業承継者入試枠の設置

WBSでは、全日制グローバルMBAプログラム（2年制）において事業承継者枠の入試制度を設置しています。以下は、WBSで事業承継者向けと考えられるプログラムです。

プログラム名称	入試区分		概要
	一般入試	事業承継者入試	
全日制グローバルMBA	●	●	事業承継者入試の枠組みあり。平日通いが2年間かけて知見、経験、人脈を広げるプログラム。ファミリービジネス承継者の多くは2年の在学期間を活かし、交換留学などの経験も積み、グローバルな視座に立った事業承継を目指して羽ばたいている。
1年制総合MBA	●	-	平日昼間に通学し、1年間でMBA取得を目指す集中プログラム。
夜間主総合MBA	●	-	平日昼間は働きながら、平日夜間や土曜日に通学し、2年間でMBA取得を目指すプログラム。
夜間主プロフェッショナルMBA（マネジメント専修、ファイナンス専修）	●	-	夜間主総合と同様の時間帯で、より深い専門性を目指すプログラム。起業家や事業承継者を意識したモジュール（事業創造とアントレプレナー）あり。

ファミリービジネスの持続的な発展を目指して

在学生の声



野渡 毅之さん

大学卒業後、国内大手ペーパー用品メーカー（ビジョン株式会社）に入社し、4年間海外営業部でメキシコやパナマなどの中南米地域を担当しました。その後は祖父が創業し、現在は父が経営するユースキン製菓株式会社へ入社しました。転職後の5年間は、国内・海外営業、製造部門で経験を積む一方で、今後ファミリービジネスを永続的に発展させるためには、より幅広い見識やネットワークを深める必要があると思い、WBSの受験を決意しました。WBSでは国内トップクラスの教授陣と、幅広い分野の科目が充実しており、アカデミックな理論だけではなく、実務に基づいたバランスの良い講義を受けられることが最大の魅力だと思います。また、海外からの留学生も多数在籍し、幅広いネットワークを構築できると感じています。

10年後の今も通用する、不易流行の経営を学べる場所

修了生の声



高橋 明希さん

家業である（株）武蔵境自動車教習所の後継者になると自ら決め、経営全般を学ぶことができ、チャレンジできる環境はないかと考えていたところ、早稲田大学ビジネススクール（WBS）の説明会に参加し志願させて頂いたのが2006年でした。2007年からの2年間は、授業はもちろんのこと、自分とは全く違うバックグラウンドの仲間との熱烈な意見交換は、私の価値観を大きく崩壊し、知的、人間的にも鍛えて頂きました。自動車教習所業界は、以前から傾斜産業と言われ、継続することが困難だと言われていましたが、WBSでの2年間の日々は、自社だけが圧倒的に差別化できる点を発見することに注力しました。また付加価値をどうつけるか、机上の空論ではなく現場社員を巻き込み実行することを学び、それが現在、生きた経営として表れています。2009年卒業の年に代表取締役社長に就任し早いもので約10年経過した今、改めてWBSで過ごした2年間の日々を宝の日々だと感じています。